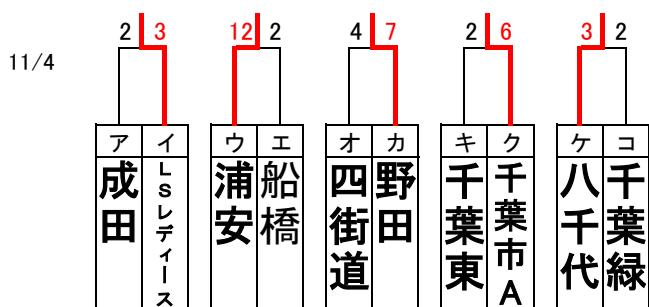
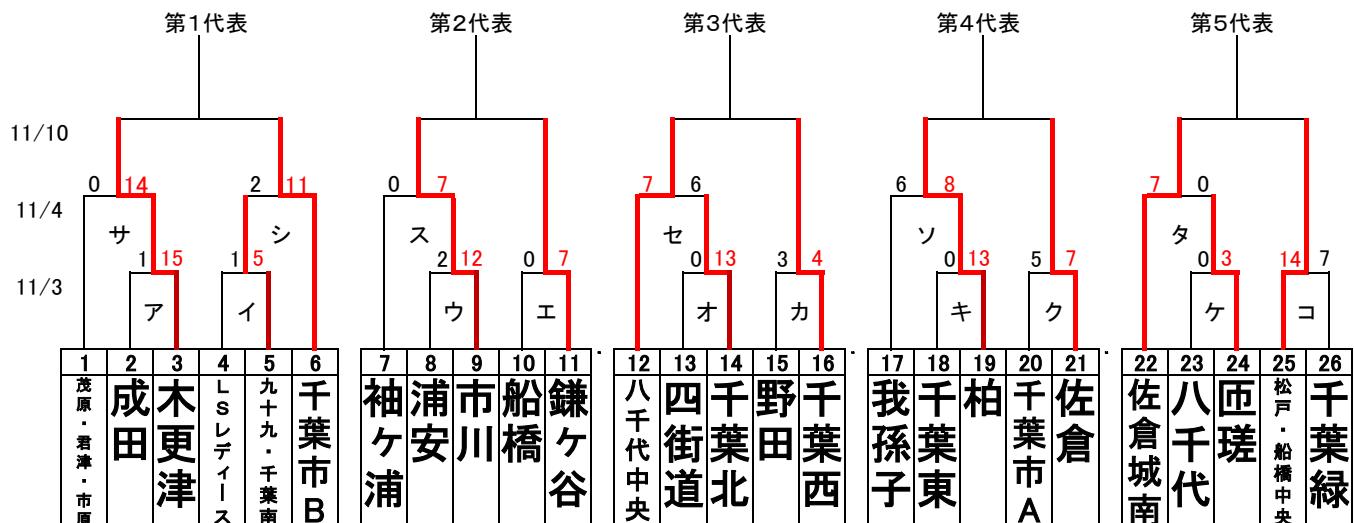
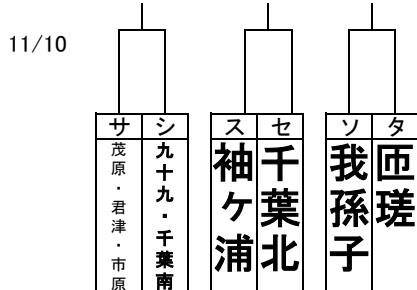


2024年度 第18回 成田国際空港杯フレッシュマン大会



※敗者戦は代表戦へは繋がりません。

※※審判の方は7時30分からの朝ミーティングに参加してください※※
(第一試合の1時間半前に朝ミーティングを行います)



11月3日(日)

試合会場	責任者	第一試合					第二試合					第三試合				
1A 木更津G	粕谷競技委員	成田	1	-	15	木更津	八千代	0	-	3	匝瑳					
1B 九十九G	中島理事	LSレディース	1	-	5	九十九・千葉南	船橋	0	-	7	鎌ヶ谷					
1C 千葉北G	山本競技委員	四街道	0	-	13	千葉北	浦安	2	-	12	市川					
1D 柏G	立松競技委員	千葉東	0	-	13	柏	野田	3	-	4	千葉西					
1E 千葉緑G	椿理事	松戸・船橋中央	14	-	7	千葉緑	千葉市A	5	-	7	佐倉					

11月4日(月)

試合会場	責任者	第一試合					第二試合					第三試合				
2A 茂原G	大羽澤理事	茂原・君津・市原	0	-	14	木更津	千葉東	2	-	6	千葉市A					
2B 九十九G	作田競技員	九十九・千葉南	2	-	11	千葉市B	成田	2	-	3	LSレディース					
2C 千葉北G	山本競技委員	八千代中央	7	-	6	千葉北	浦安	12	-	2	船橋					
2D 柏G	立松競技委員	我孫子	6	-	8	柏	四街道	4	-	7	野田					
2E 佐倉G	鈴木理事	佐倉城南	7	-	0	匝瑳	袖ヶ浦	0	-	7	市川					
2F 千葉緑G	椿理事	八千代	3	-	2	千葉緑			-							

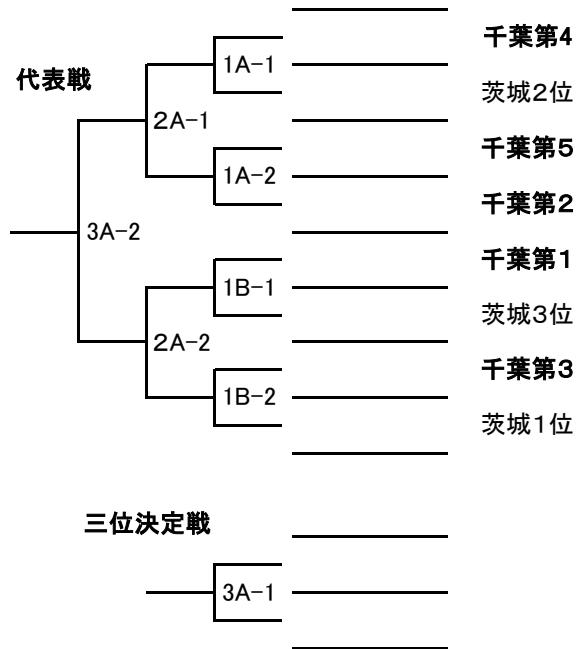
11月10日(日)

試合会場	責任者	第一試合					第二試合					第三試合				
3A 木更津G	椿理事	木更津		-		千葉市B	八千代中央		-		千葉西					
3B 柏G	立松G	柏		-		佐倉	我孫子		-		匝瑳					
3C 佐倉G	後藤理事	佐倉城南		-		松戸・船橋中央	市川		-		鎌ヶ谷					
3D 茂原G	大羽澤理事	袖ヶ浦		-		千葉北	茂原・君津・市原		-		九十九・千葉南					

第18回成田国際空港杯フレッシュマン大会(代表戦)

千葉第1代表
千葉第2代表
千葉第3代表
千葉第4代表
千葉第5代表
茨城1位
茨城2位
茨城3位

優勝
準優勝
第三位
第四位



月日	記号	試合球場	審判員	月日	記号	試合球場	審判員
	1A		派遣審判				
	1B		派遣審判				
	2A		派遣審判				
	3A		派遣審判				

リトルシニアの投球数制限に関する統一ガイドライン

日本リトルシニア中学硬式野球協会

投手の投球数制限に関しては、次に掲げるリトルシニア独自のガイドラインに基づくものとする。

- ① 1日最大90球以内とする。 (投手 A~F)
- ② 連続する2日間で130球以内とする。 (投手 ABCE)
- ③ 3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投(連続する4日間)は認めない。 (投手 D・E)
- ④ 上記①②③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。 (投手 A・D・E)
- ⑤ 大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球を可能とする。 (投手 F)
- ⑥ 打者に対して投じた投球がボールとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒及び、20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
- ⑦ 申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。
(例：2ボール・1ストライクとなり申告敬遠をした場合、それまでに投じていた3球は投球数にカウントする。)
- ⑧ 雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑨ 万が一制限数を超えて投じられた投球も有効とする。
- ⑩ 異なる大会であっても、連日投球する投手は、この統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

投手の投球数制限における投球可能数のケース (投球数)

	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6日目	予備日
投手 A	90 (93)	40 (46)		90	40 (42)		90 (92)
投手 B		79	51 (56)		44	86 (91)	
投手 C			40	90 (95)		89	41 (45)
投手 D	68	22 (26)	40 (42)		87	3 (6)	40 (45)
投手 E	82	第一試合 21 第二試合 27(30)		46	第一試合 25 第二試合 19(22)	40 (46)	
投手 F	90 (95)		90		90 (94)		90 (92)

- ・・・ 上記①・②・④
- ・・・ 上記①・②
- ・・・ 上記①・②
- ・・・ 上記①・③・④
- ・・・ 上記①・②・③・④
- ・・・ 上記①・⑤

※()内は打席の途中で制限数に達し、当該打者の打席終了まで実際に投じた投球数を示す。

以上

<様式 A>

投球数確認シート

【本部提出用】(試合終了後チームで保管)

大会名 : 第18回 成田国際空港杯フレッシュマン大会 チーム名 :

日本リトルシニア中学硬式野球協会

球場名														
試合月日		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
対戦相手		VS	VS	VS	VS									
背番号	投手名	投球数	投球可否	投球可能数	投球数									
1		球	可・否	球	球									
2		球	可・否	球	球									
3		球	可・否	球	球									
4		球	可・否	球	球									
5		球	可・否	球	球									
6		球	可・否	球	球									
7		球	可・否	球	球									
8		球	可・否	球	球									
9		球	可・否	球	球									
球場責任理事(役員)確認サイン														
球場責任審判員確認サイン														
監督確認サイン														

【投球数制限】

- ①1日最大90球以内とする。
- ②連続する2日間で130球以内とする。
- ③3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投(連続する4日間)は認めない。
- ④上記①②③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
- ⑤大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
- ⑥打者に対して投じた投球がボールとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。

⑦申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。

⑧万が一制限数を超えて投じられた投球も有効とする。

⑨異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

- ①試合終了後、**投球数カウント係が記入した本シート(原本)**に球場責任審判員がサイン後、球場責任理事(役員)及び、監督へ確認を求め、サインを受ける。
- ②監督は、サインされた本シート(原本)を次の試合まで保管する。
- ③監督は、次の試合開始前に本シート(原本)とコピー2部を大会本部へ提出する。
注)連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する。
- ④鉛筆での記入と複写したシートは、原本としては無効とする。

注)打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

<様式 B> (1試合用)

投球数確認シート

【責任審判員保管(試合終了後)】

日本リトルシニア中学硬式野球協会

大会名 : 第18回 成田国際空港杯フレッシュマン大会

チーム名 :

試合日 : 年 月 日 (第 試合)

球場名 :

<記入例>		※上段:投球数を正の字で記入										※下段左:その回の投球数		※下段右:累計の投球数	
背番号	投手名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB-1	TB-2	TB-3	合計		
1	日本一郎	90(92)球	正正正	正正正T	正正正正	正正正正	正正正正						90(92)球		
			15 / 15	17 / 32	20 / 52	20 / 72	20/90(92)	/	/	/	/	/			

注)五回、打席の途中で制限数の90球に達し、当該打者の打席終了まで投じた結果、累計の投球数が92球となった例。

【記入欄】		投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB-1	TB-2	TB-3	合計
背番号	投手名												
1		球											球
		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
2		球											球
		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
3		球											球
		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
4		球											球
		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
5		球											球
		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球

【投球数制限】

注)打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

①1日最大90球以内とする。

②連続する2日間で130球以内とする。

③3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投(連続する4日間)は認めない。

④上記①②③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。

⑤大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。

⑥打者に対して投じた投球がボーグとなつた場合は、投球数にカウントする。

また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。

⑦申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球はカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。

⑧万が一制限数を超えて投じられた投球も有効とする。

⑨異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

①様式B'やスコアシート等との確認により、正確な投球数の記入に努める。

②試合終了後、責任審判員が保管する。